

保 証 書

株式会社 カスタム
印ス会

保 証 規 定

本器は当社基準に基づく検査により合格したもので、
下記の保証規定により保証いたします。

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は
無償で修理いたします。

2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。

3. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外いたします。

a 不適当な取扱い、使用による故障

b 設計仕様条件等を越えた取扱い、または保管による故障

c 当社もしくは当社が委嘱した者以外の改造または修理に
起因する故障

d その他当社の責任とみなされない故障

e 消耗品および付属品の故障

型 番	V-17	シリアルNo.	
保証期間 年 月 日 より1カ年			
お 客 様	お名前 様		
	ご住所		
	電話番号		
販 売 店	住所・店名		

販売店様へ お手数でも必ずご記入の上お客様へお渡ください。

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
株式会社 カスタム TEL: 03(3255)1117 FAX: 03(3255)1137
https://www.kk-custom.co.jp/

お問い合わせ窓口電話 03-3255-1117
受付時間 9:00～17:30(土、日、祝日を除く)
製品に関するお問い合わせは、接続後「2」番を押してください。

CUSTOM

AC/DC 検電器
型番:V-17



このたびは、当社の検電器をお求めいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用
ください。なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大
切に保存されることをおすすめします。

取扱説明書

安全にご使用いただくために

本製品を安全に、末永くご使用いただくために、以下の事項をお
守りください。
本文内の ⚠ (危険) は、使用者が事故を起こす可能性を避ける
ための記号です。また ⚠ (警告) は、本器を長期間にわたって
損傷を防ぎ良好な状態でご使用いただくための記号です。

⚠ 危険

- ・本製品を高圧電路で使用しないでください。
- ・ケースにヒビや割れがある場合は使用しないでください。
- ・電池は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。
万が一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
また、使用済の電池は直ちに破棄してください。電池を過熱する
と破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでくだ
さい。

⚠ 警告

- ・先端の接触検知部で手や目を刺すことのないよう注意して使用
してください。
- ・接触検知部の先端を強くこすったりすると静電気が発生し、誤
動作の原因になりますのでご注意ください。

防水について

・本器は、防水構造ではありませんので、水に浸さないでください。
また、水がかからないように注意してください。

メンテナンス

- ・不具合が生じたときは、弊社、または弊社代理店に修理を依頼
してください。本器を分解すること、絶対にやめてください。
精度の保証ができなくなります。
- 電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。
付着した汚れは、乾いた柔らかい布、または中性洗剤を溶かした
洗剤液に浸して固く絞った布で拭いてください。絞り方が不完全
な布は使わないでください。
アルコールやシンナー、ベンジンなどの揮発性溶液は、絶対に使
用しないでください。

1.特長

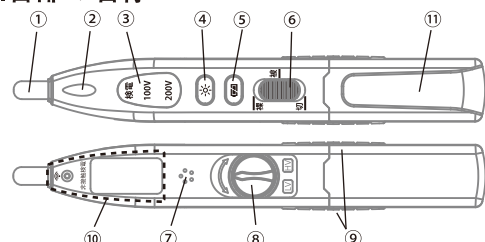
- 非接触式 (AC) と接触式 (AC/DC) の通電状況を簡単操作で
チェックするペンサイズの検電器です。
- 非接触式測定時に感度調節が可能なボリューム付き。
- AC・DC 100/200Vの電圧判別機能付き。
(接触式測定時のみ。接地の状態が不安定な場合は正確な
電圧判別が出来ません)
- 暗所で便利なLEDライト機能付き。

2.定格、仕様

接触式電圧検出範囲	AC: 7V ～ 1000V DC: 5V ～ 1000V
非接触式電圧検出範囲	AC: 30V ～ 1000V
インジケータ	検電 LED: 非接触モード時 AC30V ～ 1000V の電圧を検出した際点灯
	100V LED: 接触モード時 DC5V ～ 約 125V の電圧を検出した際点灯
	100V LED: 接触モード時 AC7V ～ 約 125V の電圧を検出した際点灯
	200V LED: 接触モード時 DC 約 125V ～ 1000V の電圧を検出した際点灯
200V LED: 接触モード時 AC 約 125V ～ 1000V の電圧を検出した際点灯	
感度調整機能	本体裏面のボリュームにより検出電圧の感度調整が可能 (非接触モード時のみ有効)
絶縁耐圧	AC2000V/1 分間 (検知部—スイッチ間)
LED ライト機能	ライトボタンを押している間、LED ライトが点灯
使用温湿度	0℃～+40℃、75%RH 以下 (但し、結露の無い事)
保存温湿度	-10℃～+50℃、75%RH 以下 (但し、結露の無い事)
電源	LR-44 (1.5V)×2 個
寸法・重量	W17.5×H132.0×D18.0mm、約 24 g (電池含む)
付属品	取扱説明書 (保証書付き)

検電および電圧の判定は、他の配線の影響を受ける場所や検電器の握り方等で変化する
場合があります。
※本器に内蔵の電池は出荷時動作確認用です。
初めてご使用いただく際には必ず新しい電池と交換してください。

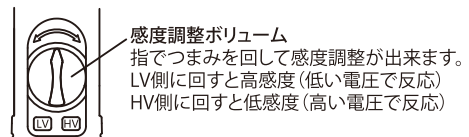
3.各部の名称



- | | |
|--------------|-------------|
| ① 接触検知部 | ⑦ ブザー |
| ② LEDライト | ⑧ 感度調整ボリューム |
| ③ インジケータ | ⑨ 導電ゴム |
| ④ ライトボタン | ⑩ 非接触検知部 |
| ⑤ セルフチェックボタン | ⑪ ペンクリップ |
| ⑥ モード切替スイッチ | |

4.測定前の準備

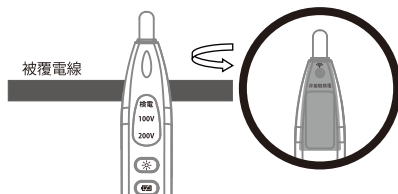
- (1) 外観、構造に異常が無いか確認してください。
- (2) モード切替スイッチを“被”(被覆電線)または“裸”(裸電線)にしてセルフチェックボタンを押します。
電池及び製品に異常が無ければ、“被”(被覆電線)の時は、赤色のLEDが点灯しブザーが鳴り、“裸”(裸電線)の時は、緑色と青色のLEDが点灯しブザーが鳴ります。
- (3) “被”(被覆電線)の場合は、既知の電源を利用し、感度調整ボリュームで感度を調整してください。



5.使用方法

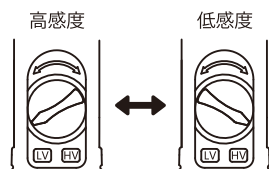
5-1. 非接触式検電モード

- (1) モード切替スイッチを“被”(被覆電線)の位置に合わせてください。
- (2) 非接触検知部を検電対象に近づけてください。



- ・ボリュームをLV側に回すと感度が高くなり、低い電圧で反応します。(検電LEDが点灯しブザーが鳴ります)
- ・ボリュームをHV側に回すと感度が低くなり、高い電圧で反応します。(検電LEDが点灯しブザーが鳴ります)

※感度調整ボリュームの回転範囲



回転範囲を超えて無理につまみを回しすぎないようにご注意ください。

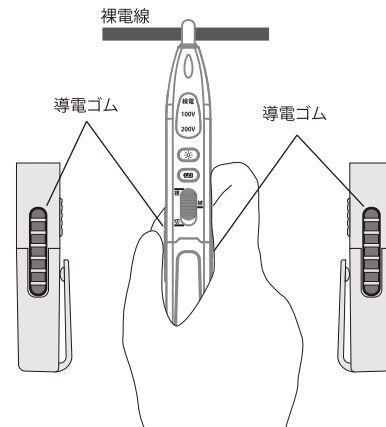
※測定対象物に接触させる位置や向きなどによっては、検電反応が異なる場合があります。

※パソコンや各種電気製品、IHヒーターなどからは電磁波が出ているため、何も無い空中でもそれらに反応してしまう場合があります。

※通信ケーブルなどの周波数が高いケーブルの場合は、数V程度の信号に対しても検電反応をする場合があります。

5-2. 接触式検電モード

- (1) モード切替スイッチを“裸”(裸電線)の位置に合わせてください。
- (2) 検電器の両サイドにある導電ゴムをしっかりと握りながら、接触検知部を測定対象に直接接触させます。



- (3) 検出した電圧値に応じてインジケータ部の100V or 200VのLEDが点灯しブザーが鳴ります。
 - ・100V 緑色LED ⇒ AC、DC共に約125V以下の電圧を検出した際にブザー音と共に点灯します。
 - ・200V 青色LED ⇒ AC、DC共に約125V以上の電圧を検出した際にブザー音と共に点灯します。

本器は、対地間電圧で動作します。

※家庭用200Vコンセントなどの単相3線式の200Vでは、200VのLEDは点灯せず、100VのLEDが点灯します。

※3相3線式や3相4線式の場合、接地相との電位差に合わせたLEDが点灯します。

※接地の状態が不安定な場合は正確な電圧判別が出来ません。

5-3. LEDライト

モード切替スイッチが“被”(被覆電線)もしくは“裸”(裸電線)時にライトボタンを押している間LEDライトが点灯します。

※LEDライトを繰り返し点灯させると電池が消耗するので、測定できる回数が少なくなります。

5-4. 電源OFF

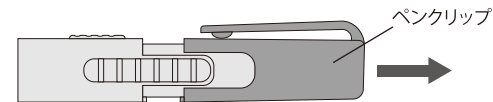
モード切替スイッチを“切”の位置に合わせてと電源がOFFします。

6.電池の交換

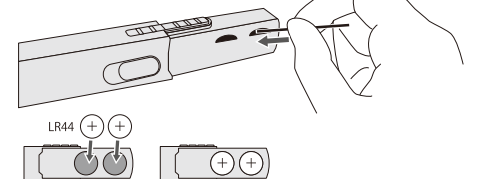
セルフチェックを行った時にLEDが暗かったり不自然に点滅したり、ブザーの鳴り方がおかしくなった場合、または動作しない場合は、電池の容量が少なくなっている事が考えられます。

次のように電池を交換してください。

- (1) ペンクリップを後方にスライドさせて外します。



- (2) ボタン電池2個を新しい電池に極性に注意して交換します。
電池の裏側に穴が開いており、ピンなどで押すと取り出し易くなっています。



- (3) ペンクリップを元の位置に戻します。

